

患者氏名
生年月日

大腿骨頸部(転子部、頸部)骨折地域連携診療計画書

入院日 平成 年 月 日

急性期病院 (津山中央病院)

手術後
約2週で
転院です

主治医:

看護師:

	入院日～手術前日	手術日	術後1～2週	転院
検査	手術前に病状にあわせ、血液検査、レントゲン検査、心電図など必要な検査を行います		術後の病状にあわせ必要に応じ血液検査、レントゲン検査などを行います	転医予定先のベッド調整がつき次第転院となります
治療		手術 術中・術後の 抗生剤点滴	主治医の指示により術後輸液や鎮痛剤等による治療を行います	
処置	肺塞栓、深部静脈血栓症の予防処置(弾性ストッキング、間歇的下肢圧迫装置など)を行います			
活動	ベッド上で安静にさせていただきます 痛みに応じてベッドアップ可能です	ベッド上で安静にさせていただきますが、術後は看護師の介助のもと体の向きを変えます	痛みに応じて歩行器等を用いて歩行練習を行って頂きます リハビリセンターで行った訓練内容を病棟でも実践して下さい	
食事	常食 (患者様の病状にあわせ必要時に治療食)	主治医の指示により絶飲食	元の食事に戻ります	
排泄	床上(尿器、必要に応じ尿カテーテル留置)	カテーテル留置	術後早期にカテーテル抜去	ポータブルトイレまたはトイレへ
清潔	体を拭きます (二人以上で施行)		洗髪・足浴	ガーゼ除去後は入浴が可能となります
説明	医師(主治医・麻酔医)から手術・麻酔について説明があります	手術後に説明があります	術後経過や退院または転院について説明いたします	
リハビリ	肺塞栓、深部静脈血栓症の予防目的の運動		術後早期から病状にあわせリハビリ(車椅子・平行棒・歩行器)を開始します	
医療相談		可能であれば手術当日に医療相談を受けていただき、転医先など今後について相談します。希望があれば福祉制度、介護サービスなどの相談にも応じます		

同意書(本人または家族のサイン)

氏名 (続柄)

日常生活機能評価点

点

退院・転院基準(術後合併症なし)

平成 年 月 日

点が高い方が自立度が高いことを示します

回復リハ病床 ()

主治医:

看護師:

	転院日～退院 入院期間およそ 日程度
検査治療	必要に応じ血液検査、レントゲン検査などを行います。元の疾患の治療は継続します
活動	自宅退院を目指して、歩行器、杖等を用い歩行練習を継続します
食事	常食 (患者様の病状にあわせ必要時に治療食)
排泄	職員の介助のもと、トイレ動作の自立、オムツをはずせるようにしていきます
清拭	介助のもと清拭、シャワー、入浴していただきます
説明	病状、リハビリ実施状況、今後の方針などについて説明します
リハビリ	自宅退院後の家屋改修(手すり設置など)や杖や歩行器などの装具の必要性につき検討、指導させていただきます
医療相談	介護サービスなど、退院後の療養について相談します

日常生活機能評価点

点

点が高い方が自立度が高いことを示します

退院・転院基準(歩行能力の改善)

平成 年 月 日

同意書(本人または家族のサイン)

氏名 (続柄)

かかりつけ ()
主治医: 他の方担当者:

	病状が安定している場合
検査治療	血液検査、レントゲン検査などを行います。必要に応じ一般病院で行うことがあります。元の疾患の治療は継続します
相談	療養支援などについて相談をお受けいたします

一般・療養型病床 ()
主治医: 他の方担当者:

	状況に応じ期間を決定
検査治療	血液検査、レントゲン検査などを行います。必要に応じ一般病院で行うことがあります。元の疾患の治療は継続します。必要に応じ、リハビリを継続します
相談	療養支援などについて相談をお受けいたします

施設 ()
主治医: 他の方担当者:

	状況に応じ期間を決定
相談	療養支援などについて相談をお受けいたします

日常生活機能評価点

点

点が高い方が自立度が高いことを示します

同意書(本人または家族のサイン)

氏名 (続柄)